

<p>11月7日 水</p>	<p>14:00 ～ 17:00</p>	<p><b>口腔ケア事業 研修後事後評価</b>  <b>特別養護老人ホーム あさひ</b>          平成30年8月2日から3回の研修を受講され3ヶ月経過しました。          研修前からお協力いただいている利用者様約50名様に再度ご協力いただき、以下の3項目の検査を実施いたしました。          ・舌圧          ・口腔内水分量チェック          ・細菌数          利用者様の中に、「舌圧が何に影響あるんや？」など関心を持って下さる方もおられ、保健所の丹下主査やあさひの森下看護主任の説明に納得されていました。</p> <p>終了後、森下看護主任から、「ベッドでの生活や食事摂取をされていた方が、車いすに座って食事しておられる。」「車いすで過ごす時間が長くなったが、姿勢が崩れず座っておられる。」という話が聞けました。また、牛乳パックで手作りされた足台を利用している方からは「これを使うと楽ですね。これがないと足が浮いてきます・・・。」と笑顔で話をしてくださいました。          ⇒この事業やって良かった。まだまだ広げていこう！と決心しました。</p>  
<p>11月10日 土</p>	<p>14:30 ～ 16:30</p>	<p><b>ワールドカフェ 保健福祉センター3階</b>  <b>基調講演</b>  <b>『医師の立場から今後の在宅医療について』 伊都在宅医療サポートセンター長 前田至規先生</b>  <b>ワールドカフェ (グループディスカッション)</b>          テーマ 1. 薬の重複について支援できること          2. ケアや医療などの受け入れの悪い方に多職種でどう関わりができるか のどちらか          6班×8名 (職種：医師、歯科医師、訪問看護師、ケアマネージャー、訪問介護者、行政関係者、2名の薬剤師 (主催))</p>     
<p>11月13日 火</p>	<p>13:30 ～ 14:30</p>	<p><b>診療所内カンファレンス 阪中外科 14名参加</b>          6症例のカンファレンスを実施。          一人暮らし、認知症のある利用者の方の対応の困難さについての検討を実施。          デイを利用するにも前もって気持ちの準備と持ち物の準備に支援が必要。          在宅環境の調整の必要性、特に地域的に受診支援 (交通の便が悪い) の難しさがある。          病院に受診して、「生活習慣について怒られた、飲酒癖が治らず怒られた・・・もう受診しなくなった。」というケアマネの相談に、先生からは「怒っても治るもんじゃない。診察を希望しているけど来れないなら訪問してみますわ。」と先生の人間味あふれる言葉に、皆がホッとする場面もありました。          今回から、在宅で活躍されている理学療法士が出席          担当している方の相談など一緒にお話ししたいと挨拶があった。          ⇒今後、PTとして専門的なアドバイスを期待いたします。</p>
<p>11月15日 木</p>	<p>18:30 ～ 20:30</p>	<p><b>口腔ケア研修 第3回目 (特養)第2愛光園 施設内48名/施設外15名</b>  <b>講師：「高齢者の口腔ケアの実践」伊都歯科医師会 内田憲二歯科医師</b>  <b>紀和病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 白石菜保子看護師</b>  <b>参加者：施設内 名 施設外 名 (講師他関係者4名除く)</b>          講義のあと、白石先生による口腔ケアのシミュレーションと実習を行いました。今回は受講者が多数のため、伊都歯科医師会の先生方や支援者が大勢応援に駆けつけてくれました。会場では熱心な受講者と指導者とのやりとりで、マイクを使っても声が通らないほどの熱気でした。開催施設棚田介護課長からは、「口腔ケアを必要とする多くの方は自分の訴えがしにくいためできない方です。実際自分で口腔ケアをする・受けるを実習し、机上講演でない貴重な体験をしました。この体験を訴えができない方への接し方も含めて生かしていただきたい。」と挨拶がありました。会場準備から片付けまで施設の方には本当にお世話になりました。</p>   

<p>11月20日 火</p>	<p>14:00 ～ 15:00</p>	<p><b>診療所内カンファレンス 梅本外科 14名参加</b> 6症例のカンファレンスを実施 「あの患者さんは親うちの患者さんだった。」先生にはうちの父がお世話になっています。「その患者さんは大病院志向だけど、何かあったらいつでも診てもらえる先生ところに受診しています。安心するみたいです。」25年ほど前、近所の方の受診のお手伝いをした時もそうでした。先生との信頼関係の深さが地域に根差した医療を提供し続けることにつながっているのですね。 当日出席されていた池田保健所所長から、リハビリの医療から介護（通所リハ・訪問リハ）への移行時の判断について。また移行時にケアマネや利用者に不都合が生じていないかなどの質問があった。包括支援センターでは毎日のようにこのテーマで論議がされているよう。利用者様への説明の重要性を感じる。例えば信頼する医師から、痛みがあっても必要に応じて歩行することの有効性など。</p>
<p>11月21日 水</p>	<p>14:00 ～ 14:45</p>	<p><b>診療所内カンファレンス 萩原内科小児科 11名参加</b> 9症例のカンファレンスを実施 9症例とも80歳以上。でも・・・報告があった方の介護認定は支援がほとんどでした。認定割合は他の地域とそう変わりはなく、必要な人に必要なサービスが提供できるように公正に判断されているようですが。 「今まで要介護2だった方が支援2に変更になったので、デイの行き先を変更しなくてはいけません。」 「90歳を超えていても坂道の多い地域で、文章を書く力は衰えても、車の運転は取り上げられない。」 医師やケアマネが期待しているほどのサービスが提供できないことのジレンマがあることを萩原先生・病院連携室・在宅ケア関係者・行政みんなで共有するしかありませんでした。</p>
<p>11月21日 水</p>	<p>15:15 ～ 16:15</p>	<p><b>診療所内カンファレンス 松岡医院 11名参加</b> 4症例のカンファレンスを実施 そのほかに、今や12人に一人となっている乳がんの検診をもっと若い人に受けてもらうにはどうしたらいいのかなどか、子宮頸がんワクチンの話題。アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の話題、介護保険申請について、和歌山県にはまだ開設されていない介護医療院について・・・など豊富なテーマにカンファレンスに来てよかったと満足して帰宅いたしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>11月28日 水</p>	<p>18:00 ～ 19:00</p>	<p><b>第3回ナーシングセミナー 紀北分院</b> 講師：「在宅における自然災害対策について一緒に考えよう」橋本市民病院 DMAT 曾和倫代看護師 参加者：43名 曾和先生から、最近の災害・避難行動・自助第1・事前の備え・準備と安全第1・情報キャッチ・・・などの講義を頂きました。そのあと、訪問看護STなのはなの南看護師から今年の台風での体験談を話していただきました。その後、グループに分かれ、先生の講義で納得したことと疑問・実際の体験談を聞いて感じたこと・連絡ツール・実際困ったこと等をお話しました。発表では、対象者と家族に対して日頃から繰り返し説明や意識づけ、早い目の情報キャッチと対応、行政や病院との連携、利用者へのサービス優先度決定・・・など時間を越えてのディスカッションが行われました。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
<p>11月29日 木</p>	<p>17:00 ～ 19:00</p>	<p><b>口腔ケア研修 第3回目 (老健)メデイケア橋本</b> 講師：「高齢者の口腔ケアの実際」伊都歯科医師会 岡田隆秀歯科医師 紀和病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 白石菜保子看護師 参加者：施設内 15名 施設外 26名（講師他関係者4名除く） 講義のあと、白石先生による口腔ケアのシミュレーションと実習を行いました。伊都歯科医師会の先生方も応援に駆けつけてくれました。会場ではテーブル1台受講者4人に1人指導者が入っていただけなので、その場での質問が多く、スムーズな運営ができたと報告がありました。また、菊川副施設長兼看護部長は指導後、利用者様の歯ブラシの見直しをされたそうです。「食事や排せつ入浴といったケアが重要視される中、口腔ケアに対する優先度の位置づけはまだまだ低いです。今回の研修でスタッフに少しでも関心を持ってもらうためにいいきっかけでした。」と話されていました。価格よりも質を重要視した看護部長の姿勢が、ケアをする人たちにきつと伝わることと思います。「口腔ケアの質向上がきっかけで利用者の満足度が上がれば、一緒に学会発表に行きましょうね。」と、白石先生のやる気がどんどん上昇しています。</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: repeat(3, 1fr); gap: 5px;">      </div>